

## カードローン審査を通過するには？審査で確認される重要事項をチェックしよう！



金銭的な悩みがあってカードローンを利用してみたいものの、審査が通るか不安で申し込みに踏み切れない。審査における確認事項や、判断基準がわからない。こんな悩みをお持ちの方は少なくないでしょう。

金融機関からお金を借りるのは怖い、個人情報はどこまでチェックされるのか不安だと感じる方もいらっしゃるかもしれません。

本記事では、カードローン審査が実施される目的や審査でチェックされる具体的な内容まで、審査を通過するために必要な情報をご紹介します。審査における重要項目を確認して自身の情報と照らし合わせ、審査に関する不安を解消したうえでカードローンの利用を行いましょう。

## カードローン利用の流れ



まずは、カードローン利用に際しての手続きの流れをご紹介します。

### 金融機関に申し込みをする

まずは金融機関に申し込みを行います。店舗受付、電話、ウェブ申し込みといった手段があるので、自身の都合の良い方法を選択して申し込みを行いましょう。

ウェブ申し込みは24時間申し込み可能というメリットがありますが、審査受付時間とは異なる点に注意しましょう。審査が開始されるのは、金融機関ごとに定められた所定の時間内になるため、急ぎのときには特に注意が必要です。

### 必要書類を提出する

申し込みを行ったら、次に必要書類を提出します。カードローンを申し込む際には「本人確認書類」に加え、場合によっては「収入証明書」が必要になります。本人確認書類は基本的にどのカードローンを利用する場合でも必要になり、運転免許証・健康保険証・個人番号カードなどが本人確認書類として認められます。

収入証明書は、借入希望額が高額になる場合や勤務先の情報を提示するに際して提出を求められる場合があります。収入証明書として認められるのは、源泉徴収票・所得証明書・給与明細書などです。本人確認書類、収入証明書として認められる書類は金融機関によって異なるため、申し込みの際に確認しておきましょう。

### 審査を受ける

必要書類の提出が終わったら、返済能力などを確認する審査が行われます。審査は一般的に仮審査と本審査に分かれています。仮審査はスコアリングシステムという方式で行われ、カードローン利用者の情報を点数化して、機械によって自動で判定を行います。本審査は仮審査を通

過したのちに受ける審査で、個人情報や職場への在籍確認といった詳細な情報の確認が行われます。

審査結果は消費者金融のカードローンの場合は早ければ当日中に、銀行カードローンの場合には翌日以降に伝えられます。無事審査を通過したら、契約を行い、融資を受けることが可能になります。

## カードローン審査を行う目的



カードローン審査を通過するためには、審査の目的を把握しておくことが重要です。審査を行う最大の目的は、カードローン利用者がしっかり返済を行ってくれるか判断することです。貸金業者をはじめとした金融機関は、利用者がきちんと返済を行ってくれなければ利益を上げることができません。そのため、安定した収入があって貸付を行うに足る人物か、というのを判断するのです。

加えて、審査にはカードローン利用者の保護という目的もあります。貸付を行うのを返済できる見込みのある人物に限定することで、過剰債務や多重債務といった利用者のリスクを防ぐ役割を果たしています。

また、審査のないカードローンは存在しません。審査なしのカードローン利用は貸金業法で禁止されており、審査なしで利用できる場合は違法業者にあたるので注意が必要です。

## カードローン審査でチェックされる情報



カードローン審査において金融機関がチェックする情報は以下の通りです。ただし、審査基準は公表されておらず、利用する金融機関によって基準は異なるという点に注意しましょう。

### 信用情報

信用情報はカードローン利用者がこれまで利用したクレジットカードの情報やローンの情報などを記録したものです。これまでのカードローン利用において、遅延などのトラブルを起こしていないか審査するための情報です。指定信用情報機関(CIC)や指定信用情報機構(JICC)といった、国が指定した信用情報機関に返済状況や契約状況などの確認を行って、借り入れを許可できる人物かを判断します。

判断基準は金融機関によって異なりますが、他社からの借入情報や延滞の有無といった情報も審査の対象である点に注意しましょう。また、1,000円の費用を支払って信用情報機関に依頼をすることで、信用情報を開示してもらうことができます。

### 返済能力

カードローン利用者がきちんと返済をするための能力を有しているかを示す情報を返済能力といいます。返済能力の判断に際しては継続して返済を続ける力が求められるので、定期的な収入があるか、借入希望額が収入に見合っているかといった要素が確認されます。

参照される主な事項は、年齢・年収・職業・雇用形態・勤続年数などです。前述の通り、金融機関は返済がなければ利益を得ることができないため、返済能力が認められなければカードローン審査の通過は難しいでしょう。

## 総量規制

総量規制とは、カードローンにおいて年収の3分の1を超える借入ができないという取り決めです。法律によって定められている規制であり、金融機関は利用者の借入額が既定の額を超えていないか確認する義務があります。たとえば利用者の年収が300万円の場合、100万円が上限となります。

ただし、他社から貸付を受けている場合にはその金額も含めて計算を行う点に注意しましょう。仮に年収300万円の人が金融機関Aから50万円の貸付を受けている場合、金融機関Bから受けられる貸付は50万円が限度になります。また、銀行や信用金庫からの貸付は総量規制の対象金額には含まれません。

## カードローン審査で特に重要な事項



前項で解説した信用情報・返済能力・総量規制を判断する際に、特に重要視される事項には以下のようなものが挙げられます。

## 借入状況

カードローン利用者の返済能力を判断する際には、借入状況が参照されます。他社で高額の前貸付を受けていたり、多数の金融機関から融資を受けていたりすれば、適切な返済能力を有していないと判断されてしまうでしょう。

## 年収

年収も返済能力を判断する指標となります。年収が高ければよいというわけではなく、どれだけ安定した収入があるかといった点もチェックされることに注意しましょう。

## 職業

職業も年収と合わせて収入に関する情報として参照されます。正社員か非正規雇用か、といった就業状況も加味して判断され、正社員などの安定した収入が見込める職業の場合には返済能力を考慮する際にプラスの要素になります。

非正規雇用であることを理由にカードローンを利用できないということはありませんが、職についていない場合は収入が見込めないと判断されてしまうため、審査を通過することは非常に難しいといえるでしょう。

## 勤続年数

職業に加えて、勤続年数も審査において参照される重要な情報です。勤続年数が長ければ長期間安定した収入があると判断され、離職する可能性も低いと判断されるため、返済能力を考慮する際にプラスにはたります。

## 住宅情報

住宅の形態や住宅ローンの利用状況などの住宅情報も重要な審査対象となります。賃貸住宅で支払っている家賃が高額な場合、カードローンの返済に影響を与えると判断されれば審査においてマイナスにはたらくことになるでしょう。

また、持ち家の場合も住宅ローンが参照されますが、居住期間が長いほど安定した収入がある証明になるというメリットもあります。

## カードローン審査が通らないときの主な原因



カードローン審査は基準が公表されているわけではないため、通過できないこともあるでしょう。審査が通らない主な原因としては、以下のようなものが挙げられます。

## 返済能力に見合わない内容で申し込んでいる

金融機関に申し込んでいる借入希望額などが、返済能力に見合うものでない可能性があります。ここまで見てきたように、返済能力はさまざまな要素を加味したうえで判断されますが、その一つの目安になるのが返済比率です。

返済比率は年収に対して返済額がどれくらいあるかを算出する指標で、住宅ローンやショッピングローン、クレジットカード分割払い等の返済額も含めて計算します。年収に対して返済額が35%~40%程度になってしまうと、カードローンの審査の通過が難しくなると言われているため注意すべきといえるでしょう。

## 多数の機関に同時にカードローンを申し込んでいる

多数の機関に同時に申し込みを行っている状況は金銭的に困っている状況であると判断され、返済能力がないとみなされることがあります。複数の機関から貸付を受けていると、借金の返済を目的として借金を行う多重債務を疑われることもあります。また、金融機関への申し込みの記録は6カ月間信用信息に反映されることを覚えておきましょう。

## 過去に返済の遅延などのトラブルを起こしたことがある

延滞をはじめとした金融事故を起こしてしまうと履歴が信用信息機関に登録されてしまうため、審査が通らない原因となります。返済遅延がある場合に加え、債務整理や自己破産を行った経験がある場合にも審査を通過することは大変難しくなるでしょう。

金融事故の情報は基本的に5年間保存(延滞の場合は延滞解消から5年間)され、この期間を過ぎれば情報は削除されます。そのため、信用信息が原因で審査を通過できない場合にはこれらの情報が削除されるまで期間をおく必要があるでしょう。

カードローン審査を受ける際には必要な情報を念入りにチェックしよう！



本記事では、カードローンを利用する際の流れや審査において重要な情報、具体的なチェック内容などを解説しました。事前にチェックしておくべき内容や、審査に通らない原因などもご確認いただけたのではないのでしょうか。

カードローンを利用するには自分の情報の確認や書類の記入において、念入りのチェックが必要です。ただ、信用情報や返済能力に問題がなければ過度に身構える必要はありません。今回ご紹介した内容をもとに、ぜひカードローンの審査に申し込んでみましょう。